

授業科目 NO.501 基礎看護学実習 I

(対象の生活・環境・健康課題の理解)

Fundamental Nursing Practicum I
(Understanding the Target's Life, Environment, and Health Issues)

授業の形態： 実習

単位数（時間数）： 1 単位（45 時間）

開講年次・学期： 1 年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 生活，看護職者としての基本的姿勢、健康課題、援助的コミュニケーション

1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標

看護の対象である人々の生活（療養生活を含む）を理解する。また、看護職者としての基本的姿勢（対象の権利を尊重し、擁護する。倫理に基づき行動する）と健康課題を解決するための知識・技術の必要性、援助的コミュニケーションの実際を学修する。

2) 行動目標＊カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 看護の対象である人々の生活（療養生活を含む）と生活に対する思いを知ることができる。
(①②③)
- (2) 看護職者が対象の権利を尊重し擁護する必要性がわかる。(①②)
- (3) 看護職者には、対象の健康課題を知り、そのために知識・技術が必要であることがわかる。
(①②③)
- (4) 対象に対して援助的コミュニケーションをとることができる。(①②)
- (5) 看護学生として、看護倫理に基づいた行動ができる。(①②)

3 学 修 内 容

実習の内容については、実習要項に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	100%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：松井 希代子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
准 教 授	宮永 葵子 (基礎看護学)
講 師	新井 里美 (基礎看護学)
講 師	宮崎 彩乃 (基礎看護学)
講 師	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 教	白藤 友紀 (基礎看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、全員が看護師の実務経験を有している。

7 教科書

「看護学原論Ⅰ」等で用いられた教科書・資料

8 推薦参考書

特になし

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

準備学修は実習全体として 180 分程度必要です。以下の点についてまとめることが必要です。

- 1) 生活環境、生活行動、健康課題とは何かについて
- 2) 一般的な 24 時間の生活行動はどのようなものか (社会生活を送る人、入院生活を送る人)
- 3) 看護職の倫理綱領 (16項目) の前文と1～6の内容を簡潔にまとめる。
- 4) 健康の定義 (出典を記載すること) について
- 5) 看護職が行う技術と、その技術を安全に行うための知識は何か
- 6) コミュニケーション技術の具体的な方法：患者さんへのあいさつの方法や、配慮すること

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・事前学修レポートは担当教員がコメントして返却します。
- ・実習記録物・評価は、実習終了後に個別にフィードバックします。

11 履修上の注意事項

- 1) 実習オリエンテーションには必ず出席すること。
- 2) 健康管理に努めること。金沢医科大学附属病院において実習します。感染管理においては、「金沢医科大学病院 病院の受け入れに関する方針」に従うことになります。
- 3) 個人情報保護に留意すること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。研究室に不在時はメールで連絡ください。土日は、返答できないことがあります。

松井 mkiyoko@kanazawa-med.ac.jp

各担当教員については、オリエンテーション時にお知らせします。